



市川市立高谷中学校 学校だより 10月号

輝く若木



学校 HP

令和5年9月29日

高谷中みんなの広場

本日、二学期中間テストが終わりました。皆さん、結果はどうでしたでしょうか。夏休み前に克服しようと思っていた自分の課題を、見事克服できた人は何人いたでしょうか。

さて、酷暑、炎暑といわれた記録的な暑さもようやく小康しょうこうを向え、ようやく凌しのぎやすい気候になってきました。スポーツに、勉強に、読書に、集中力も高まりますね。

様々な行事に全力で取り組む！！

10月は、行事が目白押しの月です。まずは、運動部活動の新人戦。新チームのフレッシュな力を出し切ってください。そして、SNS 講演会に、メディアコントロールウィークの実施。これらは、自分と向き合っってしっかり学んでほしいと思います。そしてなんといっても、合唱祭に向けた練習の始まりです。

合唱は、一人ではできません。(当たり前のことですが。)自分が一生懸命歌うと同時に、周りの友達の声をしっかり聴かなければなりません。また、言葉を大切にすることも大事です。歌の世界観を自分たちのものにし、言葉一つ一つの意味をかみしめてみましょう。歌詞の解釈や音読も大変重要です。様々な工夫を凝らし、各クラス、悔いのない練習を行い、絆を深めてください。



立会演説会の様子 新体制スタート!!

~***保護者の皆様***~

学校では、10月の取り組みとして、インターネットやSNS等との付き合い方について、二つの視点から指導を行います。

一つ目の視点は、SNS等の危険性や正しい付き合い方について考える、というものです。高谷中では、10月18日に外部から講師を招き、講演会を実施いたします。現代では、スマートフォン等はもはやインフラです。だからこそ、正しい使い方を身に付けておくことは大切なことであると考えます。

もう一つの視点は、メディアから距離を置くという視点です。高谷中学校では、10月24日から27日まで「メディアコントロールWeek」を設けています。メディアから距離を置くことも、ある意味、メディアと上手に付き合っていくための訓練です。禁止ではなく、コントロールです。メディアによってコントロールされるのではなく、自分自身、あくまでも主体的な利用者であることを意識してチャレンジしてほしいと思います。

10月の予定

*これまで、主な行事のみをお知らせしていましたが、10月は行事が多いので、すべての日にちを載せています。

1日 (日)	新人戦【野球・柔道】	17日 (火)	木123456
2日 (月)	3年校長面接開始 合唱祭練習開始	18日 (水)	合唱祭実行委員会 SNS等講演会(5校時)
3日 (火)	会議のため放課後諸活動なし		職員会議、放課後諸活動なし
4日 (水)	テスト返却開始、金12345 合唱祭学年Ⅲ(3年:5校時) 会議のため放課後部活動なし	19日 (木)	金123456、合唱祭実行委員会
5日 (木)	専門委員会	20日 (金)	前期終了(通知表) 合唱祭、生徒会任命式(5校時)
6日 (金)	3年到達度テスト、水12345金6 合唱学年Ⅳ①(2年、ゆめ:5校時 1年:6校時) 合唱祭実行委員会	21日 (土)	新人戦【サッカー・バレーボール・バドミントン】
7日 (土)		22日 (日)	新人戦【サッカー・バレーボール】
8日 (日)	新人戦【サッカー】	23日 (月)	後期開始、月1234金56、避難訓練 合唱祭実行委員会
9日 (月)	スポーツの日	24日 (火)	7/7 イブWeek(~27日) 脊柱側湾症2次検診(2年該当者)9:30~ 市川大野体験学習(ゆめ)9:45 専門委員会
10日 (火)	合唱祭実行委員会	25日 (水)	全学年三者面談(~10/31) 水1234
11日 (水)	定例研、水1234	26日 (木)	木1234
12日 (木)	進路保護者会 15:15~(3年⑥カット)	27日 (金)	金34月56
13日 (金)	合唱学年Ⅳ②(2年、ゆめ:5校時 3年:6校時)	28日 (土)	ブロック音楽会(AM体育館) 新人戦【サッカー】
14日 (土)	オープンスクール、月123456 合唱学年Ⅳ②(1年:6校時) ※お弁当 新人戦【サッカー・バドミントン・剣道】	29日 (日)	
15日 (日)	新人戦【サッカー・バレーボール・バドミントン・剣道】	30日 (月)	月1234
16日 (月)	振替休業	31日 (火)	火1234

学校図書館長おすすめ
これ、読んでみて

おうちの人と
お子さんと



古館先生もおすすめ。

『スマホ脳』 アンデシュ・ハンセン 著/ 新潮新書

みなさんは、1日に何時間、スマートフォンを使用していますか？スマートフォンがインフラと化した今日では、スマートフォンを持っている人に関して言えば1日に一度も手にしないことのほうが、珍しいかもしれません。スマートフォンは、今や私たちの生活に欠かせないものになっています。しかし、睡眠や運動の時間を奪うほど時間を費やしている、ということになると、ちょっと考えなくてはなりません。

本書は、スマートフォンの使用について警鐘を鳴らしています。

この本の前書きで、著者は、「人間の脳はデジタル社会に適応していない」と述べています。そして、本書について、スマートフォンが外界とのライフラインになった今だからこそ読むべきなのだ、と結論付けています。睡眠と運動が十分でないと感じている人には是非手に取ってほしい1冊です。